

AEON



第45期 第2四半期

MV中部通信

2017年3月1日▶2017年8月31日



MaxValu

マックスバリュ中部株式会社

証券コード 8171

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
 本年度、創業70周年を迎えた当社は、成長戦略に基づいた新中期3カ年計画を策定し、中部圏ナンバーワンのスーパーマーケットを目指して新たなスタートを切りました。当社が掲げる「ハレの日から普段使いまで、毎日のおいしい食卓をご提供する近くて便利なスーパーマーケット」を実現するため、「営業力の強化」「商品力の強化」「開発力の強化」「ダイバーシティ経営の推進」を重点政策として各種取り組みを進めています。

「営業力の強化」におきましては、接客力の強化策として従業員を対象に「食と健康」をテーマとした社内セミナーを開催し、商品知識の蓄積を接客につなげる取り組みを開始しました。一方、個店ごとの営業力強化として、各店舗よりお客さまに直接お買得情報等を発信する新たな販売促進サービスや店舗従業員が中心となって地域の行事や食文化に合わせた品揃えを提案する等、地域に根差したスーパーマーケットを目指しています。並行して、既存店の改装を11店舗で実施し、地域特性に合わせた品揃えの変更、什器備品の入れ替え、レイアウトの変更を実施しました。

「商品力の強化」におきましては、生鮮および惣菜部門の売上構成比の向上に取り組み、産地直送の拡大や「オーガニック野菜」「サラダ」「オードブル」等の高付加価値商品の拡販を行いました。特に惣菜部門では、連結子会社のデリカ食品株式会社と連携した商品開発を継続して実施してまいりました。また、創業70周年記念セールでは、創業記念商品の開発に加え、増量商品やお値打ち価格の記念商品の訴求を行いました。

以上の取り組みを行いましたが、競争激化に伴う既存店客数の減少による売上高の伸び悩みや労務コスト上昇による経費の増加が主因となり、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高とその他の営業収入の合計)は890億29百万円(前年同期比0.0%増)となりました。営業利益は12億67百万円(前年同期比37.8%減)、経常利益は13億36百万円(前年同期比34.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億30百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

ここに、第45期第2四半期のご報告をさせていただくにあたり、株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2017年10月



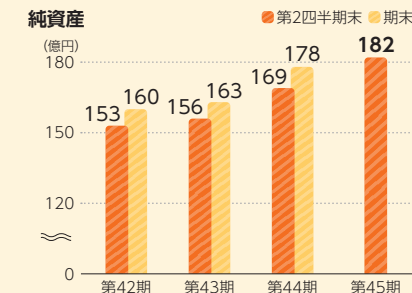
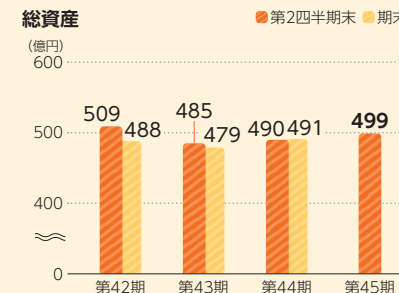
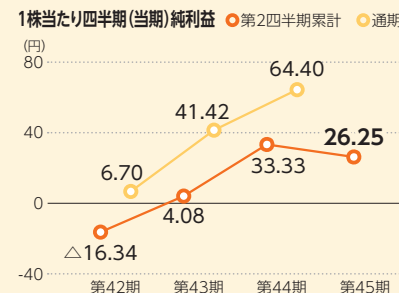
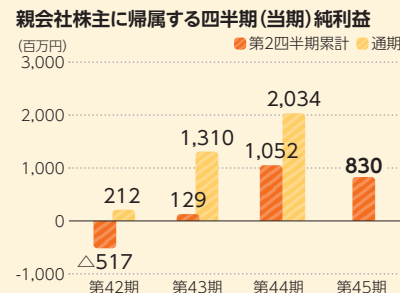
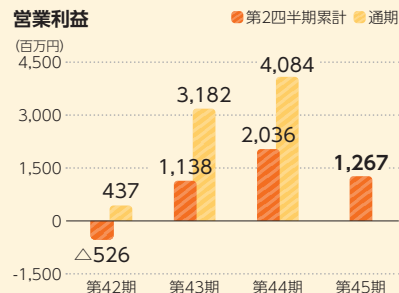
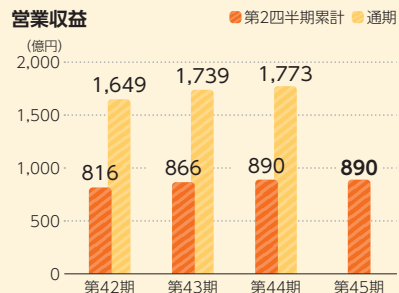
代表取締役社長
鈴木 芳知

2017年度上半期の概況

- **新規出店**
 2017年3月 マックスバリュ志段味店(名古屋市守山区)
 2017年7月 マックスバリュ扶桑店(愛知県丹羽郡扶桑町)
 2017年7月 マックスバリュ エクスプレス天白原店(名古屋市天白区)
- **店舗リニューアル**
 2017年4月 マックスバリュ篠原橋東店(名古屋市中川区)
 2017年5月 マックスバリュ川井町店(三重県松阪市)
 他9店舗
- **多気クリスタルタウンSCにて、第10回環境フェスティバルを開催**
- **三重県総合文化センターにて、2017年度チェッカーコンテストを開催**



○ 連結業績ハイライト



新規出店 店舗リニューアル

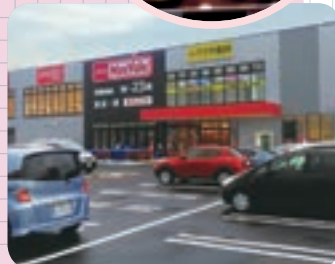
2017年
3月

マックスバリュ
志段味店
(名古屋市守山区)



2017年
7月

マックスバリュ扶桑店
(愛知県丹羽郡扶桑町)



2017年
7月

マックスバリュ
エクスプレス天白原店
(名古屋市天白区)



主な店舗リニューアル

2017年
3月

マックスバリュ
御器所店
(名古屋市昭和区)



2017年
4月

マックスバリュ
篠原橋東店
(名古屋市中区)



2017年
4月

マックスバリュ
北勢店
(三重県いなべ市)



2017年
5月

マックスバリュ
東近江店
(滋賀県東近江市)



2017年
6月

マックスバリュ
千代田店
(名古屋市中区)



2017年
5月

マックスバリュ
川井町店
(三重県松阪市)



2017年
6月

マックスバリュ
大台店
(三重県多気郡
大台町)



2017年
8月

マックスバリュ
垂水店
(三重県津市)



新規出店

全店舗で「LINE@」を 導入いたしました!



2000年以降のデジタル化社会の登場は、想像以上のスピードで進化しております。

パソコンから始まった家庭でのデジタル化の波は、1世帯に一台から1人に一台の時代に変化してきております。

その中心的な役割をはたしたのが「スマートフォン」の登場です。

スマートフォンが登場したことでライフスタイルは大きく変わり、今や全ての情報はスマートフォンを通じて収集や拡散をしているといっても過言ではありません。



そんな経済環境の変化に対して、多種多様な情報伝達ツールも登場しました。その1つが「LINE@」です。

マックスバリュ中部では、2017年8月までに全店舗に導入を完了しており、週末チラシ・商品情報・お買い得クーポンなどの配信を通じて、お客さまと繋がり、少しでもお役に立てるよう運用をさせていただいております。

今後は、一人でも多くのお客さまにご利用いただき、一人でも多くのマックスバリュのファンを創出出来るように取り組んでまいります。

子供も大人も楽しめます!

環境を考える参加型イベント

第10回

環境フェスティバル開催

6月に三重県多気郡多気町の多気クリスタルタウンショッピングセンターにおいて、「第10回環境フェスティバル」を開催しました。環境フェスティバルは、日頃、環境保全活動に力を入れている企業・団体の取り組み紹介を通じて、環境についてみんなで考えていただく機会とすることを目的としたイベントです。

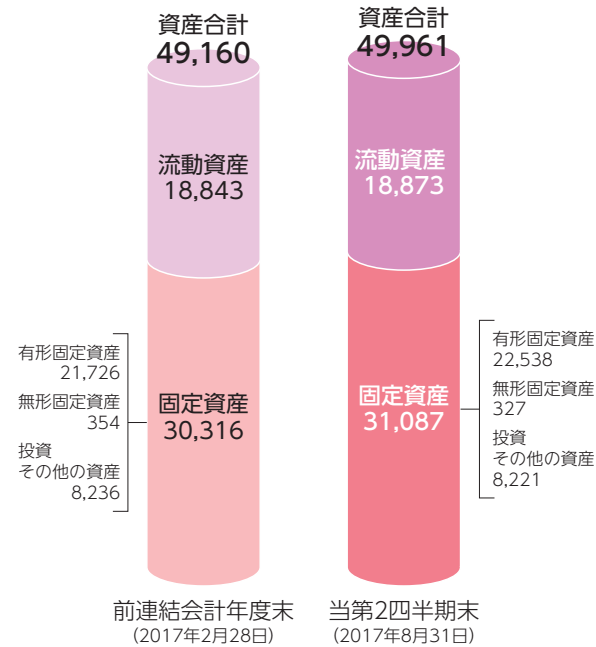
当社および当社と環境保全活動で関係のあるエコパートナーの皆様が各ブースに分かれて、「環境」に関する体験学習やパネルの展示、プレゼントなど、地域の皆様にご参加いただく企画を中心としたイベントを実施しました。

2017年度下半期は10月にイオンタウン名西(名古屋市西区)で開催し、11月にイオンタウン大垣(岐阜県大垣市)で開催予定です。

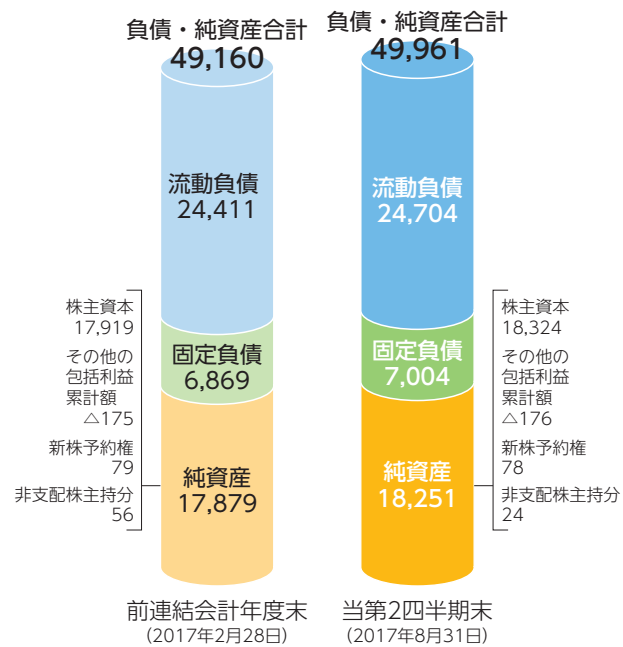


■ 連結貸借対照表 (単位：百万円)

資産の部



負債・純資産の部



POINT

資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ8億円増加し、499億61百万円となりました。増減の主な内訳は、有形固定資産が8億11百万円増加したこと等によるものであります。

POINT

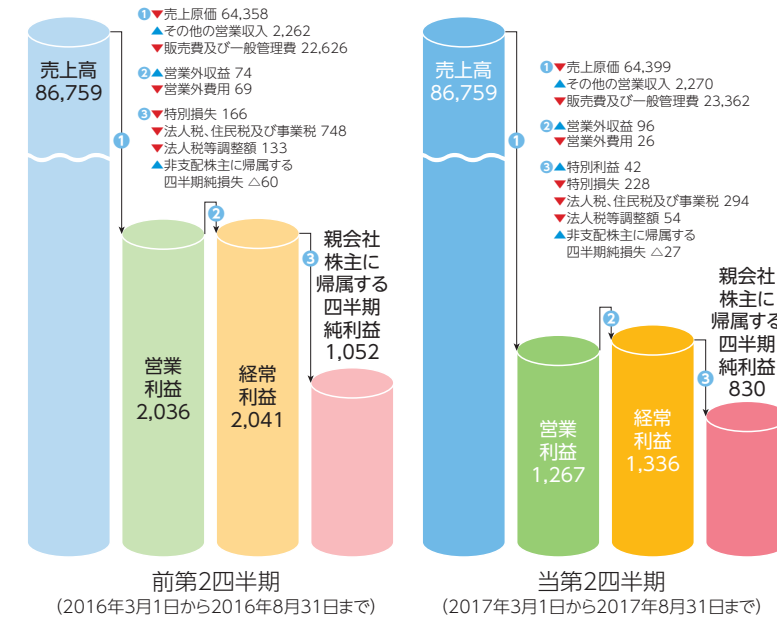
負債

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億28百万円増加し、317億9百万円となりました。増減の主な内訳は、未払法人税等が8億88百万円減少、買掛金が14億41百万円増加したこと等によるものであります。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億71百万円増加し、182億51百万円となりました。

■ 連結損益計算書 (単位：百万円)



POINT

競争激化に伴う既存店客数の減少による売上高の伸び悩みや労務コスト上昇による経費の増加が主因となり、営業利益は12億67百万円(前年同期比37.8%減)、経常利益は13億36百万円(前年同期比34.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億30百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は23億53百万円(前年同期に比べ10億79百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億50百万円の計上、減価償却費13億3百万円、仕入債務の増加額14億42百万円及び法人税等の支払額12億円等によるものであります。

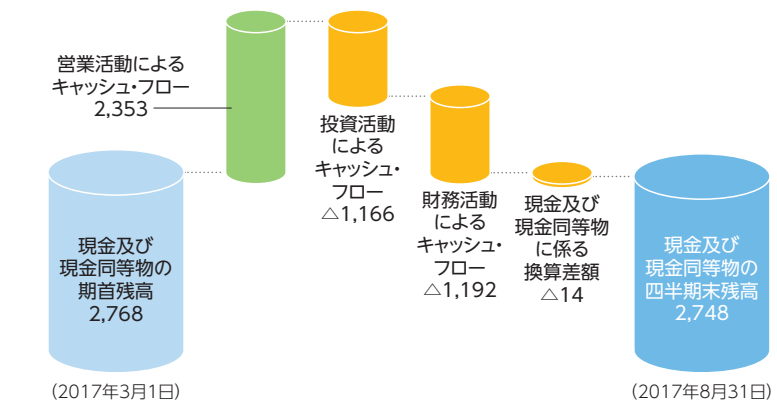
投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は11億66百万円(前年同期に比べ10億12百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億29百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は11億92百万円(前年同期に比べ3億79百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出13億30百万円及び配当金の支払額4億39百万円があったこと等によるものであります。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



会社概要

社名 マックスバリュ中部株式会社 (証券コード 8171)
 設立 1973年8月21日
 事業内容 食料品、日用雑貨品等の小売販売
 資本金 39億50百万円
 本社 〒460-8605
 愛知県名古屋市中区錦一丁目18番22号
 店舗数 117店舗
 従業員数 1,267名 (正社員)

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式総数 31,734,623株
 (自己株式113,289株を含む)
 単元株式数 100株
 総株主数 19,447名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	21,140	66.8
株式会社百五銀行	662	2.0
株式会社ウメモト	636	2.0
株式会社第三銀行	631	1.9
三菱食品株式会社	597	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	385	1.2
マックスバリュ中部取引先持株会	370	1.1
竹内 晶子	325	1.0
加藤産業株式会社	300	0.9
マックスバリュ中部従業員持株会	290	0.9

(注) 持株比率は自己株式113,289株を控除して計算しております。

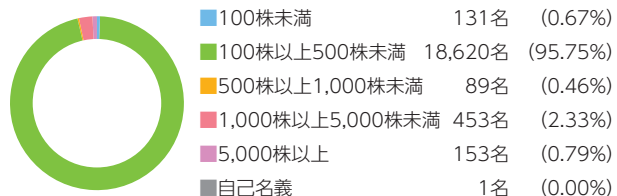
役員

代表取締役社長 鈴木 芳知
 取締役 望月 俊二
 取締役 廣村 敦
 取締役 岡田 邦和
 取締役 作道 政昭
 取締役(社外) 高島 健一
 取締役(社外) 羽石 清美
 常勤監査役(社外) 山崎 猛
 監査役(社外) 清水 良寛
 監査役(社外) 井上 義信
 監査役 本間 三男

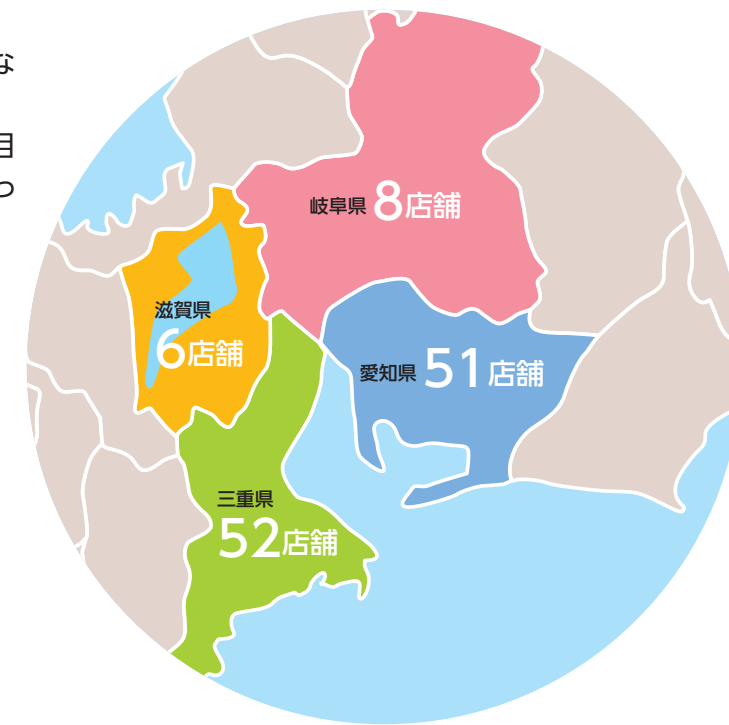
★所有者別分布状況



★所有株式数別分布状況



当第2四半期末現在の店舗数は117店舗となりました。
 今後も近くて便利なスーパーマーケットを目指し、新規出店とサービス機能の充実を図ってまいります。



★詳しい店舗情報につきましては、
 こちらをご覧ください。
<http://www.mv-chubu.co.jp/>

マックスバリュ中部

ホームページのご案内

当社ホームページは、「便利でお得なホームページ」をコンセプトにお客さまに関連する情報から最新のニュース、IR情報、便利でお得なおすすめ情報を発信しております。

IR情報はここから

トップページ IR情報

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

基準日 毎年2月末日
そのほか必要がある場合には、
あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年5月に開催

公告方法 電子公告
(<http://www.mv-chubu.co.jp/>)
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 名古屋証券取引所

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

**特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先
(電話照会先)** 〒168-0063
東京都杉並区泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

株主優待制度のご案内



毎年2月末日現在、100株以上所有の株主様に、「株主様ご優待券(額面100円)」を贈呈いたします。「株主様ご優待券」は、全国のマックスバリュ、イオンなどでお買物1,000円毎に1枚ご利用いただけます。

100株～ 999株	→	50枚 (5,000円相当)
1,000株～1,999株	→	100枚 (10,000円相当)
2,000株～4,999株	→	200枚 (20,000円相当)
5,000株以上	→	250枚 (25,000円相当)

毎年5月発行(年1回)

「株主様ご優待券」をご利用されない場合は、ご希望により「松阪牛しぐれ煮」を送付させていただきます。
4月上旬発送予定の「優待のご案内」をご確認ください。

写真は300g入りです。▶

100株以上1,000株未満	→	150g入り
1,000株以上	→	300g入り



(注) 株主優待制度は変更になる場合がございます。